

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23～26℃台を示し、平均並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週の4%（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり19kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり115kgの水揚げで、前週の26%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり17kgの水揚げで、前週の13%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり180kgの水揚げで、前週の3%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり1.1トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり142kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり155kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり526kgの水揚げで、前週の1.9倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/5～10/7の3日間）沖合イカ釣（船凍船）は、隠岐諸島北で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖で操業するも海峡悪く、操業船僅か。鳥取県西部（沖合船）1日延2隻、総計77箱、1航海最高43箱、平均38.5箱。スルメイカ（20～25入）5箱、ケンサキイカ（2～4立）72箱の混獲となった。
（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>